へ13
1504

遠
1504

1504

そうぞうにくるよ　ゑびすまつ
ちつまこのぐんたよくしやうされませうさく
きよ福んりくうしどもまうあつまうぶてく
りうりうの粗云そうこうたらんよ入ましくうゑ
くのかた浮ぞんあしたされ大けい仕り
ましてはくうまます付まして
そうく福んもさうはのはすめよう
御寄さうはのはすめよう
右後の席とあくしたらんよ
ゑまするは仏孔雀の不言の
数ふ孔るのづくうといくうりる
ちめしとうくうは荘るの寓言よ
浮屠氏のまとうくう出こ方便をそうまぜ
三摩地きに仕くはゑますす
人衆のはとさゆう　ひつじ　十月
寛政二戌乃春

山東京傳
戯作

善

心
氣

心
氣
大蒲焼

氣
傳

氣
心

目

氣

氣
怠

きゞらゝ
ごうえんざらひのそーこうす
あるそんなるまて
こゝゲさきえうつ
あびうえーて
きくべい
ごうもうえーこくあつぜん
よるべうくーらうりの
おんをうごと
あゝハ
いてもこをおうれとき
まごこうらうのこうてこまうせう
ハア
ぐんをうこうでござうやま
それハこうまん〳〵
おもをうこうれハあしが
かれハあーいハをきまうう
こうみ〳〵をまゆご
こうんと
まうれこ
ゝ
あうこのこうらちう
あうあ
ぐあしてつれうつふ

かのあさうりの時
あしのうらいろ
ふのの
ふやハ
それそこ
をうふこのしこう
あまでつれハ
ゆびをはり
たくうて
はりうひ
ゆハらひとる
なす
せめて
くうハれ
ちゑす
わんと
きふ
ゆこて
ゆれひとう
きんせんと
かこふ
のいて
くる
足ら
ふ
ちそこ
ゆんでん
のひくとそひ
はらふ
いつてもの
ゆまうり
ちつとしゑの
ゆれこそもかなし
ゆハ
うぬ
はそら
まろ

善
心
傳
心

京傳戯作
自画